

2018HKFA レフェリーキャラバン道南 報告書

研修会名 平成 30 年度(公財)北海道サッカー協会 2018HKFA レフェリーキャラバン道南
日 時 2019年2月2日(土)
会 場 室蘭市中小企業センター
講 師 大岩 真由美(HKFA審判委員会女子部、 JFAサッカーS級審判インストラクター)
今川 一輔 (HKFA審判委員会指導者部、HKFAサッカー2級審判インストラクター)
清野 裕介 (HKFA審判委員会総務部、JFAサッカー1級審判員)
オブザーバー 松本 敦夫 (室蘭地区サッカー協会副会長)
オブザーバー 山崎 裕彦 (RDO北海道審判デベロップメント・オフィサー、JFAサッカーS級審判インストラクター)
参加者 サッカー2級インストラクター11名、 サッカー3級インストラクター1名、
サッカー3級審判員9名、サッカー4級審判員5名

HKFAレフェリーキャラバンの第2回目が道南の室蘭市にて開催され、若干強風ではありましたが函館、室蘭、苫小牧から総勢28名の皆様にご参集いただきました。開催に先立ちまして室蘭地区サッカー協会副会長の松本敦夫様よりご挨拶を頂戴し、待望のキャラバンがスタートしました。講義①では、抽選で選ばれた2名の2級インストラクターが担当し、対角線式審判法についての講義と、主審と副審の協力について、サッカー3級、4級審判員を対象にそれぞれプレゼンを担当していただきました。対角線式審判法では、審判法の歴史や利点などを詳細に解説し、また主審と副審の協力では、プレゼン担当者が1級審判員だったこともあり、ご自身の経験からのアドバイスや、使用したJリーグ映像の中に実際に副審として担当されていた方が会場にいたこともあり貴重なコメントも含め実りある講義となりました。講義②では、1級審判員による競技規則改正の説明があり、Jリーグ担当審判員としての経験話も含め、クイズ形式で改正について確認を行いました。講義③は山崎RDOによる、JFAが掲げている将来構想についての説明、その後は、新アセスメントレポートについての大変分かりやすい説明を頂きました。講義④⑤は実際の試合映像を見てレフェリング分析を行いました。4グループに分かれてレフェリングを分析し、良い点、改善点を付箋に書き出しそれを模造紙にまとめ、発表、すり合わせ等を行いました。

講義⑥は試合分析力として、考慮事項を用いて審判員のパフォーマンスを論理的に、また的確に分析することを目的とした講義を行いました。すべての講義が大変勉強になる内容ばかりで、道南ブロックが一体となってこの研修会に精力的に取り組んでいる様子が印象的でした。改めましてこの道南キャラバンにご参集いただきました参加者の皆様、会場等の手配など、ご尽力いただいた室蘭地区協会の皆様には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

研修会参加者
(前列：審判員、後列：インストラクター)



講義①-1【審判理論:対角線式審判法】
三平 富喜雄 サッカー 2 級審判インストラクター



講義①-2【審判理論:主審と副審の協力】
長谷 拓 サッカー2級審判インストラクター(1級審判員)



講義②【競技規則改正】
清野 裕介 サッカー2級審判インストラクター(1級審判員)



講義③【JFA 将来構想・新アセスメントレポートについて】
RDO 山崎 裕彦 サッカーS級審判インストラクター



講義④⑤【評価のすり合せ・審判員指導方法】
大岩 真由美 サッカーS級審判インストラクター



講義⑥【Refereeing Analysis】 審判分析力
今川 一輔 サッカー2級審判インストラクター



当日のプログラム

- 9:30 集合・開講式
- 10:00 講義 1-1 審判理論 S3,S4 更新講習会(2級インス担当)
- 10:25 講義 1-2 審判理論 S3,S4 更新講習会(2級インス担当)
- 10:50 講義 2 競技規則の改正(1級審判員担当)
- 11:35 休憩
- 11:45 講義 3 JFA 将来構想(RDO 担当)
- 12:05 昼食
- 12:50 新アセスメントレポートについて(RDO 担当)
- 13:20 講義 4 評価のすり合わせ(S級インス担当)
- 14:10 講義 5 審判員の指導法(S級インス担当)
- 15:10 休憩
- 15:20 講義 6 Refereeing Analysis (イントレ担当)
- 16:30 閉講式・解散

【参加者コメント】

・大岩 真由美（公財）北海道サッカー協会審判委員会 女子部長（JFAサッカー S級審判インストラクター）

道内5ブロックに分け、初めての試み「レフェリーキャラバン in 道南」を開催しました。総取りまとめの今川 INS はポジティブな雰囲気づくりと、細やかな配慮、そして時に笑いを忘れないユニークな発想と、本当に素晴らしいマネジメントだったと思います。参加者の多くは室蘭地区の審判員でしたが、普段なかなかお会いできない INS や 1 級審判員（清野氏、長谷氏）の方々に講義をして頂き、とても新鮮で有意義だったのではと感じます。また JFA から RDO 山崎さんがサポートでお越し頂き「JFA 将来構想」のレクチャーでは、日本審判界の方向性を非常にわかりやすく丁寧に説明して頂きました。開催地区となった室蘭 FA の鈴木委員長はじめスタッフ全員で協力し、とても安心できる準備等をして頂けたと感じます。

今日、この「レフェリーキャラバン in 道南」に関わることができ、私自身もとても勉強になりました。道南ブロックは「函館、苫小牧、室蘭」と実際の距離はありますが、今日の時間が距離を感じさせない良い関係を築くことができたのではないかと感じます。今後も今日のような雰囲気を大事にしながら、山下ブロック長を中心に、みんなで道南らしい「道南レフェリーファミリー」を作っていけたら幸いです。

・鈴木 敏晴 室蘭地区サッカー協会審判委員長（HKFAサッカー2級審判インストラクター）

今回のレフェリーキャラバンに参加して、プレゼン一人目の（SI2 三平氏）映像やアニメーションを取り入れて分かりやすい対角線式審判法を解説して頂きました。二人目のプレゼンの（S1・SI2 長谷氏）映像を元に試合映像の事象の解説をして頂きました。中でも、S1 清野氏の J1 担当試合の映像の解説の中で、本人の事象説明を頂き、とても分かりやすく、審判員の皆さんも良い学びに成っていました。S3、S4審判員に（S1・SI2清野氏）の競技規則改正でも、分かりやすく解説して頂きました。

JFA 将来構想と評価のすり合わせを（山崎氏 RDO）からわかりやすく説明して頂きました。

審判員への指導法を（SIS 大岩氏）からグループディスカッションで若手の審判員の良いところ・改善点を研修しました。

参加インスの皆さんの見方や意見交換が出来大変良かったです。最後に（SI2 今川氏）のユーモアを交えて、審判員への説得力の有る、反則に対しての見方と指導法を解説して頂きました。非常に実りあるレフェリーキャラバンでした。

指導スタッフの皆様本当にありがとうございました。

・山下 浩司 函館地区サッカー協会審判委員長（HKFAサッカー2級審判インストラクター）

今回室蘭を開催地として『レフェリーキャラバン道南』が実施されました。多くの参加者の元、当日は山崎 RDO、大岩 S 級 INS、現役 1 級審判員による講義やプレゼン等、非常に中身の濃い 1 日になりました。

特に参加された3・4級の審判員の方々は競技規則の改正や“主審・副審の協力”などでクイズに答えたり、講師の問いかけに全員が発言され、自分の思っていることを述べることができ、大きな刺激を受けられたと思います。インストラクターとしては分析・評価のすり合わせをすることができ、シーズンに向け、とてもいい準備ができたと思っています。

また、いよいよ始まるブロックトレセンに向けても今回のキャラバンはプラスの機会になったと思います。今回の開催にあたり準備をしていただいた室蘭地区サッカー協会の皆様、指導者部・今川さんをはじめ関係者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

・清野 裕介 苫小牧地区サッカー協会審判委員長（HKFAサッカー2級審判インストラクター・JFA1級審判員）

レフェリーキャラバン道南に参加し、室蘭地区及び函館地区の審判関係者の方々と意見交換できことは有意義な時間であるとともに、インストラクターの方との試合分析・評価のすり合わせにより評価基準の統一を図られたことは、苫小牧地区のインストラクターとしても良い経験になったと思います。道南には S 級 INS の方が在住されておりますが、1 級 INS が不在となっており、こうした研修会を通して、お互いの課題解決や知識向上を行うことで、より高い指導ができる環境を作り、W 杯に行ける国際審判員の輩出につながっていければと思います。今後もこのような機会があれば、多くの審判員・審判指導者に参加していただけることを期待します。